

児童発達支援評価表 集計結果

公表： 令和4年12月21日

事業所名 ほしのこジュニア

	項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容または改善目標
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		東京都指定により教室の広さは児童1名に対し3㎡と定められています。当事業所は81㎡あり児童が運動するには、十分なスペースが確保されています。また、新型コロナウイルス感染予防の為、座って待つ際には児童同士の距離が近くならないよう座る位置にテープで目印をつけ示しています。	
	② 職員の配置数は適切であるか	○		利用児童10名に対して、児童発達支援管理責任者1名、児童指導員2名以上で対応しています。専門性についても、全職員が有資格者となっています。	
	③ 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○		相談室、職員室、運動スペース、道具の片付け場所等は児童に分かりやすく配置をしています。室内には、コーナーガードを設置し、衝突時の安全に留意しています。当教室があるビルにはエレベーターが完備されています。	
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		毎朝の業務の一環として、掃除やピューラックス消毒を行っています。コロナ禍でもある為、朝・昼・児童退所後の掃除をより徹底して行っています。	
業務改善	⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○		毎朝のミーティング等で、連絡事項、前日の児童の様子振り返りやその日に利用する児童の情報共有をしています。また、支援方法や療育内容についての話し合いを行っています。	
	⑥ 保護者向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		年に一度、保護者に向けて事業所の評価をお願いしています。その後、保護者からいただいた意見をもとに、改善に向けて職員間で話し合いを行っています。	
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		事業所向け・保護者向け評価表の結果を集計し、本社のHPとHUGの活動記録に公表させていただきます。	
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善に繋げているか	○		姉妹教室の職員同士で巡回を行い、改善点についてアドバイスをいただいています。	

	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		「虐待防止」「強度行動障害」「防災研修」を中心に必要に応じた研修に参加しています。また姉妹教室合同での研修も行い、療育の質の向上に努めています。	
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○		個別支援計画の見直しは半年に一回、もしくは児童の成長に応じて行っています。その際、保護者の方に窺った様子と合わせて、児童発達支援管理責任者と児童指導員との間で話し合いを行い、複数の意見に基づき計画を作成しています。	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		契約時と年度が替わる際に、アセスメントシートを配布し、記入をいただいています。また、定期的に内容の修正を行い、最新の情報のもと支援が行えるようにしています。	
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○		個別支援計画を作成する際に、参考にしています。児童発達支援ガイドラインと照らし合わせてその児童の支援に必要な項目を選び、具体的な支援内容を設定できるように努めています。	
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○		各職員が児童の個別支援計画を確認しており、個々の目標を意識しながら療育内容を考え取り組んでいます。また、児童全体の課題としてあげられる事を活動時に意図的に取り入れ、活動を展開しています。	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		毎朝のミーティングや療育後に話し合いの時間を設けています。子ども達の個々の能力・課題を踏まえながら、子どもたちの成長に繋がるような療育の工夫を行っています。	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		その日の児童の様子に合わせて臨機応変に対応しています。各指導員がプログラムをもちより、季節に合わせた活動や子どもの様子から必要な活動を取り入れています。就園・就学に向けて必要なスキルが身に付くようなプログラムを立案しています。	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○		個別課題や集団活動を組み合わせるよう個別支援計画を作成するよう努めています。児童一人一人の課題を重視しています。	
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		毎朝職員間でミーティングを行い、その日に来所する児童の情報共有や、その日の療育内容について話し合っています。また、前日の振り返りや保護者からの連絡事項についても併せて職員全体で共有しています。	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		支援終了後、各指導員から見た児童の様子や保護者からの連絡事項について共有を行う時間を設けています。振り返りをする中で気付きを、次回の療育に取り入れていくようにしています。	

	⑱	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		今年度からHUGを導入し、各児童の一日の様子やサービス提供内容の記載を行っています。支援に関する記録を取る中で、その日の支援について振り返り、改善点を出しています。	
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		半年に一度、もしくは児童の成長に合わせてモニタリングを行っています。ご家庭での様子、幼稚園・保育園の様子、教室での様子から児童の成長について保護者の方と職員からの意見をすり合わせています。	
関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		今年度は該当なし。	児童発達支援管理責任者が対応していきます。
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○		保育園・幼稚園へ見学に行かせていただいています。(現在はコロナ禍の為その時の感染状況を見ながら実施しています)。あるいは、園の先生が見学にいっしょやる事もあります。また園の先生からご連絡をいただいた際には、教室での様子をお伝えすることで、教室での児童の様子の共有と相互理解を図っています。	
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	○		重症心身障害児以外を対象としている為、該当なし。	
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	○		重症心身障害児以外を対象としている為、該当なし。	
	㉕	移行支援として、保育所や認定子ども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容などの情報共有と相互理解を図っているか	○		今年度該当なし。	児童発達支援管理責任者が対応していきます。
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		小学校へ就学する際の意見書(事前にご連絡を頂いた保護者の方へ)を作成させて頂いています。就学先にどのような配慮があると良いか分かりやすい内容で記載できるよう努めています。	
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		姉妹教室との連携を図り、児童を多方面からとらえられるよう努めています。	
	㉘	保育所や認定子ども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○		新型コロナウイルスの感染予防の観点より、行っていません。	地域交流の場として夏祭り等、例年開催しておりましたが、今年も新型コロナウイルスの影響により中止としています。今後は、感染予防に留意し、地域交流の場がないか検討させていただきます。

	⑳	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○		区が開催しているネットワーク会議等へ参加をしています。	
	㉑	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		療育後、保護者の方へフィードバックの時間を設けており、その日の児童の様子や見受けられた課題、今後の支援について話し合う時間を設けています。ご家庭や幼稚園・保育園での様子についても都度情報共有をいただいています。(コロナの情勢によって、HUGでのフィードバックのみとさせて頂く可能性もございます。電話でのフィードバックも可能ですので、ご希望の際は、お声掛けください。)	
	㉒	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	○		就学に向けて保護者の方から大きな不安があるとうかがい、姉妹教室の先輩お母さまや同じ学年の保護者の方とお話する機会を作りました。今後も、新型コロナウイルスの感染防止対策を行いながら、家庭支援の方法を考えていきます。	さまざまなテーマでの会を開催し、より具体的な家庭支援に繋がるよう模索していきます。
保護者への説明責任等	㉓	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約時に、契約書類の読み合わせを行っています。また、変更があった場合も同様にお伝えしています。	
	㉔	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○		支援内容について説明時には、保護者の納得できる内容となっているか確認を取っています。	今後、求めがあれば児童発達支援ガイドラインを提示しながら対応していきます。
	㉕	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		フィードバックの時間を用いて、ご家庭や園生活に関する相談に対応しています。必要に応じて事前に日時を決めてから相談室を開放し、児童発達支援管理責任者のみではなく保護者のニーズに応じた職員が対応出来るようにしています。	
	㉖	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		参加人数の定員を決める、検温や消毒を徹底するなど、新型コロナウイルスの感染予防対策を行いながら、保護者会やグループ相談支援を開催しました。	
	㉗	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		保護者からの相談、申し入れがあった場合はその都度職員間で共有し、適切な対応について話し合っています。また、申し入れがあった際には随時予定を調整し相談室にて対応しています。	
	㉘	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		HUGを利用するようになってから、毎利用時の児童の様子や連絡事項、お家で出来る療育についてHUGに記載をしています。また、ホームページやFacebook、Instagramも定期的に更新し情報を発信しています。	

	③⑧	個人情報の取り扱いに十分注意しているか	○		個人情報に記載されている書類について、鍵付きの書庫にて管理をしています。	
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		保護者の方とも情報共有を図り、児童とやり取りできるように努めています。	
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		新型コロナウイルスの感染予防により、例年行っていた行事については開催できておりません。	
非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○		各マニュアルを策案し、教室に保管しています。	マニュアルの閲覧にご要望がありましたら、随時対応致します。
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		一時避難場所である徳持神社までの避難訓練を含め、教室内・外で防災訓練等を実施しています。	
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○		契約時・年度が替わる際に、アセスメントシートに記入をお願いしています。また、契約時に体調面で留意する事を確認させて頂いています。児童入室時、保護者の方に当日の体調についておうかがいしています。	現在は3回の検温時に37.1度以上の熱が続いている場合は、お迎えをお願いしています。また、てんかん発作時の対応方法についてマニュアルを作成し、スムーズに対応できるように対策を講じています。
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		医師の指示書ではなく保護者からの指示によって対応していますが、必要に応じて医師の診断書等の提出をお願いしております。	食物アレルギー一覧表を作成し、すぐに確認できる体制を取っています。
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		ヒヤリハットが起きた際は、記録と職員間でのフィードバックを徹底しています。また、再発防止の為対策を話し合い、改善に努めています。	
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		外部で行われる虐待防止研修に参加をしています。研修後に、参加した職員が内容を共有し、教室内・外で起こりうる虐待について話し合う場を設けていきます。	
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○		保護者の方や契約時にはどのような場面で身体拘束を行うのか説明を行い了解を得ています。また、個別支援計画に記載をしているほかに身体拘束同意書を書いて頂いています。	